Ｑ＆Ａ

Ｑ１　生活文化科とは、どんな学科ですか

生活文化科では家庭科目を中心に、みなさんの興味や進路に応じ選択科目をもうけ、生活に関する知識や技術だけでなく、社会の変化や職業選択、国際化時代に対応できる教養も身に付けます。

Ｑ２　普通科とはどこが違いますか

普通科は、国語、数学、英語、理科、地公を中心に大学進学を目指します。生活文化科は、生活に関する知識や技術の習得を中心に、将来の職業選択の礎となる科目を中心に学び、各種資格を取得します。また、進学を目指す人のための選択教科・科目も設けています。

Ｑ３　週に何時間くらい家庭科を勉強するのですか

１年＝14 時間　　２年＝12～14 時間　　３年＝13～15 時間

Ｑ４　どのような資格が取得できますか

全員が目指す資格	科目選択などにより取得できる資格
家庭科技術検定被服製作３,２級 家庭科技術検定食物調理３,２級 家庭科保育技術検定(造形表現)３,２級	家庭科技術検定被服製作１,準１級 家庭科技術検定食物調理１,準１級 家庭科保育技術検定（造形表現）１,準１級 ワープロ検定（日検）２級,準２級 情報処理検定（日検）２級,準２級 秘書技能検定３級 着付け（入門，初修）

Q5　被服分野では何を作りますか

1年	刺し子、ブラウス、ポシェット 家庭科技術検定被服製作３級（ポケットティッシュケース） 家庭科技術検定被服製作２級（アウターパンツ）
2年	パンツ、刺しゅう、じんべい 【ファッション造形を選択することにより】 家庭科技術検定被服製作準１級（ブラウス） 裏地付きスカート、浴衣、レース編み、ジャンパースカート
3年	【ファッションコースを選択することにより】 家庭科技術検定被服製作１級（裏地付きウールジャケット） 卒業作品、コンテスト応募

Q6　食物調理分野では何を勉強するのですか

1年	日常食の基本調理 家庭科技術検定食物調理３,２級
2年	食品の特徴と扱い方、日常食の基本調理 【調理を選択することにより】 食品加工(うどん、ジャム、パンなど) 和洋中の基礎と料理 家庭科技術検定食物調理準１級（高校生の通学用弁当）
3年	【フードコースを選択することにより】 行事食、供応食、集団給食、特殊栄養など 家庭科技術検定食物調理１級

Q７　費用はどのくらいかかりますか

教材費として被服材料費、調理実習材料費などが必要です。

Q8　あまり家庭科が得意ではないけれど、ついていけますか

被服、食物などの実習は、手先が器用でないと思っている人でも練習しているうちに、自然とできるようになるものです。器用でないと思っている人ほど上達が実感できます。

Q9　生活産業基礎ではどのような勉強をするのですか

　衣、食、住、保育、福祉など生活に関連する各分野の職業についての内容や資格などを学びます。それぞれの適正・興味・関心に応じた職業に就くために、必要となる学習や生活設計についても考えます。

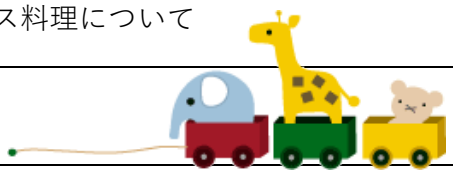
Q10　生活と福祉ではどのような勉強をするのですか

　福祉の基本的知識や食事など高齢者の生活の介助の仕方に関する実習を行います。

Q11　課題研究では、どのようなことをするのですか

研究テーマの例

被服	平安時代の衣服、韓国民族衣装、ウェディングドレスの製作
食物	郷土料理、洋菓子、フランス料理について
保育	乳幼児のおもちゃ、布絵本
住居・消費	住居模型の作成、税について
手芸	手まり、廃棄物からの服飾雑貨、編み物
着付け	振袖の着装、着付けコンサルタント（初修修得）
福祉	手話について、視覚・聴覚障がいについて



　家庭科に関して、みんなが興味や関心をもったことを１年間かけてじっくり研究します。ですから、一人ひとりの研究テーマが異なります。意欲的に楽しく研究を進めることができます。被服、食物、保育、住居・消費、手芸、着付け、福祉等の分野に分けています。各自がそれぞれ異なったテーマで研究を進め、３学期には研究発表会で成果を発表します。

Q12　その他、どのような行事がありますか

◇ボランティア活動
・福祉施設訪問
・食育推進活動（ハッピーキッチン）
・服育推進活動（ミシェル）
・児童福祉ボランティア（ソレイユ）
◇生活文化科総会
◇文化祭バザー
◇課題研究・コース発表会
◇コンテスト応募
・きもの装いコンテスト　地区大会　1 位（世界大会出場）
・高等学校ファッションデザインコンテスト 2023　奨励賞（3 年 1 名）
・高校生デザイン画コンテスト 2023　奨励賞（3 年 1 名）
・第 16 回おいしい笑顔！野菜レシピコンテスト　生活文化学科賞（3 年 1 名）
・令和 5 年度牛乳・乳製品利用料理コンクール　優秀賞（1 年 1 名）
・令和 5 年度専門高等学校生徒作文コンクール　優良賞（3 年 1 名）